

南アルプス市立八田中学校 前期自己評価書

令和3年8月20日(金)作成

学校長：穴水 秀人

記述者：教頭 林 健一郎

【八田小中一貫校の教育】

1. 教育目標

「ふるさとの未来（あす）を創造するたくましい児童生徒の育成」
～知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指して～

2. 『八田 Children first 』

小中一貫校八田小中学校の教育は、「1. 学習を繋ぐ 2. 児童生徒を繋ぐ 3. 教職員を繋ぐ
4. 学校・家庭・地域を繋ぐ」の4つの「繋ぐプロジェクト」をコンセプト（『八田 Children
first 』）に、義務教育9年間を連続させた教育に取り組む。

3. めざす児童生徒像

- ふるさとを大切に思う児童生徒
- 変化の激しい、先行き不透明な社会に適応できる主体性のある児童生徒
- 自律（自主）性・豊かな人間性を持ち、たくましく生きていくための健康・体力を持った児童生徒

【学校経営の概要】

1. 校訓 「日日新」

2. 学校教育目標 心豊かで かしこく 心身ともに健やかな生徒の育成

3. めざす生徒像 = 「知育・徳育・体育」の調和のとれた人間形成＝

- は 励んで学び、確かな知識を持つ生徒 (知育) → 知の力
 - っ 強い精神と身体を持つ生徒 (体育) → 体の力
 - た 助け合い、いたわり合う心を持つ生徒 (徳育) → 心の力
- 『当たり前のことを 当たり前にする』

4. 学校経営方針

- (1)職員の創意・工夫により、開かれた特色ある信頼される学校づくりに努める。
- (2)生徒理解を深め、一人一人のよさや可能性が生かされるよう努める。
- (3)教職員としての資質能力の向上を図り、信頼される教育活動の実践・展開に努める。
- (4)家庭・地域との連携により、望ましい教育環境づくりに努める。

5. 生徒の努力目標

- (1)授業にしっかり取り組もう（主体的・能動的・積極的に取り組めたか）
- (2)さわやかに挨拶をしよう（今日の、この出会いを大切に出来たか）
- (3)思いやりの心を行動につなげよう（相手の身になって考え行動できたか）
- (4)主体的に活動しよう（3本の本を大切に、創意工夫を持って取り組めたか）

6. 教師の努力目標

- (1)社会や地域の変化に対応できる力を持ち、常に自らを見つめ直していく教師
- (2)異なるものを受け入れ児童生徒の特性を見いだし伸ばしていく教師
- (3)教職に対する責任感、探究力を持ち、生涯にわたり学び続けていく教師
- (4)教員と生徒、また教師同士で互いに学び合い、育て合っていく教師

7. 学校経営の努力点

- (1)知・徳・体の調和の取れた、「生きる力」をはぐくむ教育課程の編成と実施に努める。
- (2)自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の定着を図る指導に努める。
- (3)豊かな人間性をはぐくみ、心の安定を図る生徒指導に努める。
- (4)体力・健康・安全に関する指導の充実に努める。
- (5)家庭・地域・関係機関との連携を深め、開かれた信頼される学校づくりに努める。

□ 全体評価

1. 教職員の自己評価

(1) 本年度の特徴

① A・B（肯定的評価）の合計が100%の項目について

- 1：生徒は楽しく学校生活を送っている
- 3：児童生徒の安全が確保されるように防災教育・防犯教育等に努めている
- 9：児童生徒とコミュニケーションをとるなど、児童生徒理解に努めている
- 10：自分からあいさつが行えるよう、指導している
- 11：いじめなどの諸問題に対して、「未然防止、早期発見、早期対応」を心がけ、楽しい学級、学年、学校づくりに努めている
- 14：各種たよりを発行するなど、積極的な情報提供を行い、地域に開かれた学校となるよう努めている

② A・B（肯定的評価）の合計が90%未満の項目について

- 2：生徒は小中一貫校の教育目標『ふるさとの未来（あす）を創造する児童生徒の育成』達成に近づくため、各自の目標を持って学校生活を送っている（76%）
- 4：小中一貫校（分離型）として、児童生徒の交流や、職員の交流を積極的に行っている（86%）
- 5：ワーク・ライフ・バランスを意識した業務改善に努めている（86%）
- 7：計画的な家庭学習の手立てをしている（81%）
- 8：GIGA スクール構想に対応した、リテラシー教育、モラル教育を行っている（81%）
- 15：地域の人材を利用するなど、地域の教育力を生かし、地域に開かれた学校となるよう努めている（76%）
- 17：小笠原流礼法や立腰教育を意識した、心と体のバランスのとれた生徒の育成に努めている（86%）

③ D（否定的評価）がたった項目について

- 4：小中一貫校（分離型）として、児童生徒の交流や、職員の交流を積極的に行っている（1）
- 8：GIGA スクール構想に対応した、リテラシー教育、モラル教育を行っている（1）
- 17：地域の人材を利用するなど、地域の教育力を生かし、地域に開かれた学校となるよう努めている（2）

④ 昨年度末後期自己評価との比較（改善した項目、悪化した項目）

改善した項目

なし

悪化した項目

- 15：地域の人材を利用するなど、地域の教育力を生かし、地域に開かれた学校となるよう努めている（-14%）

(2) 2学期の取組課題（自由記述より抜粋）

- ・生徒の育成に関わる課題
（生徒の）話を聞く力が弱い。
日常の学習習慣がまだついていない生徒が多いように思う。
- ・小中一貫・地域との交流に関わる課題
生徒自身は、小中一貫校の実感をなかなか感じられないと思うので、話をしていきたい。
コロナが終息したら、もっと地域と交流を図るべきか。
コミュニティスクールと関わり、どのように地域をまきこむのかがポイントとなる。
- ・その他の課題
行事運営や分掌について、コロナ禍においてもほとんど精選がありませんでした。一朝一夕に行くものではないが、一つ一つの行事を大切にできるほど、時間をとれていないのも現状といえるのではないかと。

2. 学校生活に関する生徒アンケート

(1) 本年度の特徴

① A・B（肯定的評価）の合計が80%以上の項目（全校集計から）について

17項目中12項目において、肯定的評価が80%以上となっている。また、90%以上が9項目あった。

② A・B（肯定的評価）が低い項目（80%未満）について

ア 3年生の評価（5項目が該当）

3「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」

（肯定的回答51%、昨年度の3年との比較：-16%、2年次からの変化：-9%）

4「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」

（肯定的回答79%、昨年度の3年との比較：+23%、2年次からの変化：-2%）

6「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか」

（肯定的回答54%、昨年度の3年との比較：-12%、2年次からの変化：-3%）

7「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」

（肯定的回答66%、昨年度の3年との比較：+14%、2年次からの変化：-1%）

10「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」

（肯定的回答77%、昨年度の3年との比較：+12%、2年次からの変化：-12%）

イ 2年生の評価（6項目が該当）

3「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」

（肯定的回答74%、昨年度の2年との比較：+15%、1年次からの変化：-4%）

4「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」

（肯定的回答52%、昨年度の2年との比較：-29%、1年次からの変化：+5%）

6「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか」

（肯定的回答44%、昨年度の2年との比較：-14%、1年次からの変化：-15%）

7「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」

（肯定的回答52%、昨年度の2年との比較：-16%、1年次からの変化：-7%）

10「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」

（肯定的回答68%、昨年度の2年との比較：-22%、1年次からの変化：+5%）

18「あなたは、家の人に学校のことを話していますか」

（肯定的回答72%、昨年度の2年との比較：-14%、1年次からの変化：±0%）

ウ 1年生の評価（6項目が該当）

3「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」

（肯定的回答70%、昨年度の1年との比較：-9%、小6からの変化）

4「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」

（肯定的回答40%、昨年度の1年との比較：-7%）

5「あなたは、学校や学年・学級へ提出するものが出せていますか（宿題等も含む）」

（肯定的回答77%、昨年度の1年との比較：-1%）

6「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか」

（肯定的回答70%、昨年度の1年との比較：+9%）

7「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」

（肯定的回答49%、昨年度の1年との比較：-10%）

10「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」

（肯定的回答52%、昨年度の1年との比較：-10%）

(2) 経年変化（1年生→3年生になるにつれ、一定の変化がみられる項目）

- 4 「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」 →上級生ほど改善
7 「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」 →上級生ほど改善
10 「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」 →上級生ほど改善
17 「あなたの平日（月～金）の睡眠時間は1日平均どのくらいですか」 →上級生ほど悪化

(3) 2学期の取組課題（肯定的評価が80%未満の7項目を改善することを課題とする）

- 3 「あなたは、授業中発言をしますか（小グループでの話し合い時も含む）」
4 「あなたは、背筋を伸ばし、良い姿勢で学習していますか」
5 「あなたは、学校や学年・学級へ提出するものが出せていますか（宿題等も含む）」
6 「あなたは、宿題以外にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）に取り組んでいますか」
7 「あなたは、家で読書をしていますか（宿題を除く）」
10 「あなたは、困ったことや心配なことがあったら、先生に相談しますか」
18 「あなたは、家の人に学校のことを話していますか」

II まとめ(成果と課題)

「教職員自己評価」「生徒アンケート」の結果から、今後以下の事柄について改善をしていく必要がある。

(1) 学力向上のための取組

【成果】

○小中一貫校として義務教育9年間を見通した教育課程を実施しようと研究する中で、小中間の情報交換・共有がすすみ、教師サイドの連携が進んでいる。

【課題】

●「生徒アンケート」から、生徒の授業に取り組む姿勢や家庭学習へのとりくみに課題があるということがうかがえる。また、コロナ下で対話的な学習がやりづらい影響もあるが、授業中の発言をしない生徒も少なからずおり、学習中の姿勢もあまりよくないことがわかる。

【対策】

- ・新学習指導要領に沿って、「主体的・対話的で深い学び」が行われるように教師が授業力を高め、授業改善に努める。同時に、「変化の激しい、先行き不透明な社会」にも適応できる力（「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」）を育む。そのためには、グループ討論や体験を通じた学習、他人に教える経験等の共同学習が大切である。コロナ下の学習では、討論や体験が思うように進められないことが予想されるが、できることを最大限保証する中で、アフターコロナを見通した教育課程づくりを進める。
- ・一斉授業では発言（表現）ができない生徒も、グループ学習では自らの考えを発表しやすくなる。一方教師も机間巡視をし、一人一人の生徒の考えを見取ることが可能となる。授業内容にもよるが、エラーレスラーニングやパフォーマンス評価を取り入れる中で、個々の考えを教師が肯定的に評価する学習を積み重ね、個々が自分の考えに自信を持てる素地を作る。
- ・職員の業務改善（行事等の見直しや働き方改革等）を行うことで、生徒と向き合う時間や教材研究等の時間をしっかりと確保する。
- ・八田小中学習スタンダード（学習スキル・学習プロセス・学習モデル・学習ツール・学習チーム・学習ルール）を意識した授業づくりを推進する。
- ・県教委から出されている「学びの甲斐善八か条」を基に、家庭学習の定着を図る。最低でも中学校3年間、できれば小中9年間一貫した家庭学習のスタイルを構築する

(2) いじめ・不登校に対する取組

【成果】

○1学期間でいじめを3件認知し、①解消している(0件)②一定の解消図られたが、継続支援中(3件)③解消に向けて取組中(0件)であった。重大事態(生命心身財産重大事態・不登校重大事態)は、今の所ない。(3カ月以上の継続支援をもっていじめ解消とするため、1学期は解消件数0となっている。)

【課題】

●教員が「児童生徒とコミュニケーションをとるなど児童生徒理解に努めている」と100%回答しているのに対して、「困ったことがある時に相談できる友だちや先生がいない」と答えている生徒が少なくない。

●学校規模からすると、不登校や不登校気味の生徒が少なくない。(1学期末30日以上欠席5名)

【対策】

- ・「学校いじめ防止基本方針」に則った取組を確実に行うとともに、定期的に(毎年)見直しも行う。
- ・いじめの認知を積極的に行い、早期発見・早期対応に努めていく。
- ・いじめの未然防止の取組(授業づくり・集団づくり・居場所づくり・絆づくり)を継続していく。
- ・「いじめ対策委員会」を中心として、組織的な対応を行う。
- ・いじめ防止に繋がる道徳科の授業や道徳教育を充実させる。
- ・校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。
- ・不登校気味の生徒に対して、保健室だけではなく、個別の部屋(相談室・学習室・会議室・パソコン準備室等)を確保し、その対応にあたる。
- ・いじめの被害者や不登校生徒に寄り添いながら、相談(SCを含む)や家庭訪問等を行う。
- ・保護者との連絡を密にするとともに、関係機関(児童相談所・市子育て支援課・警察署・病院等)との連携をとりながら、指導にあたる。